是川中

基礎・基本の定着（確かな学力）を目指した授業づくり

～特別支援教育の視点を取り入れた学習指導の工夫～（３年計画の３年次）

校長　鎌田　康由

１　研究主題について

本校が抱える課題として、基礎・基本が身に付いていない低学力の生徒が一定数おり、学力の二極化が進んでいること、発達障害やそれに類した特性を示す生徒が年々増加していること、苦しいことや辛いことへの耐性が弱く、頑張りがきかない生徒が少なくないことなどが挙げられる。

本校の学校目標は「夢と志をもち、未来に向かって学び続ける生徒の育成」である。それを具現化するための重点施策の１つとして、ひとりひとりの生徒が「授業がわかる、楽しい」と実感でき、自分から学習に取り組むことができる授業づくりを掲げている。全ての生徒に学ぶ喜びを感じさせ、確かな学力を身に付けさせるためにも、特別支援教育の視点に立った深い生徒理解と、日頃の授業における「授業のユニバーサルデザイン」の実践が必要不可欠であると考える。

そこで、今年度も昨年度に引き続き、「基礎・基本の定着（確かな学力）を目指した授業づくり」～特別支援教育の視点を取り入れた学習指導の工夫～を本校の研究主題として設定した。

特に今年度は、３年計画の３年次として「授業のユニバーサルデザイン」の中でも、昨年度までの取り組みである「学習の流れ、めあての提示」・「視覚的・具体的な指示や説明の工夫」に加え、「参加意欲を高める工夫」に重点的に取り組みたいと考える。そのためにも、授業の導入から課題設定までにおいて、問いをもつようにしかけたり、考えや立場の相違を可視化し、問いを共有できるよう教師のはたらきかけを工夫し、生徒が必要感や切実感をもって問題解決に向かえるようにしたい。また、それらの過程において一人一台端末がどう有効活用できるかも研究したい。

２　研究のねらい

基礎・基本の定着（確かな学力）を目指すために、特別支援教育の視点を取り入れた学習指導と授業の導入から課題設定までの教師のはたらきかけの工夫をすることによって、全ての生徒が学ぶ喜びや楽しさを感じて意欲的に学習し、学力の向上につながることを明らかにする。

３　研究仮説

特別支援教育の視点を取り入れた授業の実践と、授業の導入から課題設定までの教師のはたらきかけを工夫することで、全ての生徒が意欲的に授業に参加し、基礎・基本の知識や技能の習得が図られ、主体的に学習する生徒を育成することができる。

４　研究内容

(1)　「授業のユニバーサルデザイン」による分かる授業づくり

ア　授業構成の工夫

イ　つまずき防止、解消の工夫

ウ　学習の流れ、めあての提示

エ　参加意欲を高める工夫

オ　視覚的・具体的な指示や説明の工夫

カ　肯定的な評価

(2)　授業の導入から課題設定までの教師のはたらきかけの工夫

(3)　１人１台端末の有効活用

５　研究の経過

(1) 研究仮説に基づく授業研究等

月	日	学年・授業者・題材名・講師・成果・授業の概要　等
5	26	第１回授業参観週間(~6/10) 　全教員が授業参観シートを準備し、授業を公開。お互いに授業を参観し合い、参観後は感想等を授業参観シートに記入して提出。
9	21	教育指導課訪問
11	2	中教研道徳公開授業（オンライン・録画） ・２学年道徳　授業者：坂本智子、題材名：「むこう岸には」 ・３学年道徳　授業者：大坂　崇、題材名：「ぼくの物語あなたの物語」
11	7	第２回授業参観週間(~11/22) 　全教員が授業参観シートを準備し、授業を公開。お互いに授業を参観し合い、参観後は感想等を授業参観シートに記入して提出。

(2) 一般研修

月	日	内容・講師・概要等
8	3	1人１台端末の効果的な活用について 講師：八戸市総合教育センター　主任指導主事　石井　一二三　先生 内容：１人１人の考えを共有する方法
8	17	道徳における指導法について 講師：八戸市総合教育センター　主任指導主事　大野　勉　先生 内容：効果的な発問の在り方について
11	21	小・中学校ジョイントスクール推進事業　中学校の授業の参観、全体会、分科会

６　研究の成果

(1) 授業参観週間を設け、先生方が互いに授業を参観することによって、授業力向上に役立った。特に、特別支援教育の視点を取り入れること、授業の導入から課題設定までの教師の働きかけの工夫をすることに重点を置いて取り組むことで、学習課題に対する生徒の興味・関心の喚起につながった。

(2) １人１台端末の活用の機会を増やすことによって、生徒の端末を操作するスキルが向上するとともに、表現活動に個々の創造性を発揮できるようになった。また、作業の合理化・効率化が図られた。

７　研究の課題

(1) 学習に対して受け身の生徒が多いため、自主性や積極性を高めるための働きかけをこれからも継続していく必要がある。生徒が主体的に学びたくなる課題設定の在り方を研究していきたい。

(2) 特別な支援を要する生徒が多く、基礎基本を定着させるのが精いっぱいである。特別支援教育の視点を取り入れた授業を継続しつつも、自分で調べて考えて、課題を解決する力をつけるために、問題解決的な学習をどう取り入れていくかについても研究していきたい。

（記入者　増田　美保子）